

J-PALS

Japan Patient Advocacy Leaders Summit

第11回 J-PALS (患者団体代表者サミット)

実践的な知識やスキルを継続的に学ぶ場、
J-PALSアカデミーも発足

報告書

日時

2016年 6月5日(日)
10:00 ~ 16:50 (意見交換会17:00~18:00)

会場

グラクソ・スミスクライン株式会社 本社
東京都渋谷区千駄ヶ谷4-6-15 GSKビル

第11回 J-PALS（患者団体代表者サミット）開催に続き J-PALSアカデミーも始まる

GSKの4つの価値観のひとつである「患者さん中心」。J-PALSは、その価値観を具現化した取り組みのひとつであり、いまではGSKの「患者さん中心」を牽引する象徴的な活動へと成長を遂げています。11年目を迎えた今年は、患者団体の皆さんの声を受けて、より継続した実践的な学びの場を提供するJ-PALSアカデミーを発足しました。

「医療政策」、「治療と予防」、「組織運営」の3つのテーマを柱に、 実践的な知識やスキルを継続的に学ぶ場、J-PALSアカデミー

第11回J-PALS及びJ-PALSアカデミーが、2016年6月5日、GSK本社ビルにて開催され、28団体40名の患者団体代表や会員の皆さんが参加しました。

2006年より10年間、J-PALSはその年において患者団体の関心の高いテーマで、講演やワークショップを開催してきました。その中で、より継続した実践的な学びの場へのニーズがあったことから、「医療政策」、「治療と予防」、「組織運営」の3つのテーマを柱に、より実践的な知識やスキルを継続的に学べる場として、今年初めてJ-PALSアカデミーを開催しました。



● プログラム内容

午前にはJ-PALSを行い、午後は「治療と予防」「組織運営」のふたつのテーマにわかれて、J-PALSアカデミーを行いました。

J-PALS講演

高崎健康福祉大学 健康福祉学部 医療情報学科 准教授
木村 憲洋 さん

「より良い医療を受けるための医療機関に関する知識」について、病院の仕組みから、最新の医療制度まで幅広い知識を分かりやすくご講演いただきました。



J-PALSアカデミー

「治療と予防」

NPO法人ささえあい医療人権センターCOML 理事長
山口 育子 さん

「医療者とのより良いコミュニケーション方法」をテーマに、医療者・患者側それぞれの立場を想定したロールプレイを行いながら、相手の立場に立った上で、より効果的なコミュニケーションを行うためのヒントを学びました。



「組織運営」

NPO法人CANPANセンター代表理事
山田 泰久 さん

「あらためて情報発信を考える～インターネットを活用したNPOの情報発信～」をテーマに、各患者団体の情報発信の現状や改善点について議論を行いました。情報発信のポイントや社会から共感を得る情報発信の仕方、インターネットの活用方法について実践的な講義がおこなわれました。



J-PALS及びJ-PALSアカデミーの参加者からは「実践的な情報がとても有益だった」、「大変充実した内容だった」との声も聞かれ、J-PALS及び初めてのJ-PALSアカデミーは盛会裏に終了しました。

● 主催者挨拶

< 開会の挨拶 >

グラクソ・スミスクライン バイスプレジデント
政府渉外・公共政策・患者支援 アジア担当
ダニエル・ブリンドル 氏

「いま、患者さんや患者さんをサポートする方たちの声が社会に影響を与える存在になっています。皆さんが声を上げ、医療従事者や社会、政府とより良く意思疎通が図れるよう、私たちがお手伝いします。このサミットは、皆さんが企画した皆さんのための集まりです。最大限に活用してください」



< 開会の挨拶 >

ヴィーブヘルスケア(株)代表取締役社長
入山 博久 氏

「皆さんの団体がうまく運営でき、患者さんの思いを医療関係者のみならず、社会や政府関係者にも十分伝えることができるよう願っていると同時に、患者さんでありながら、患者団体に参加していない方たちの声の受け皿にもなっていただくことを期待しています」



< 閉会の挨拶 >

グラクソ・スミスクライン(株)代表取締役社長
フィリップ・フォシェ 氏

「私たちは患者団体へのサポートを継続的に行うなかで、患者団体が自分たちの意見を社会に届け、『患者さん中心の医療』の実現に向けて影響力を高めていくための、さまざまなノウハウやスキルを習得したいというニーズがあることを学びました。本日初めて開催いたしました『J-PALSアカデミー』は、そのような患者団体のニーズに応える実践的な知識やスキルを学ぶ場を提供するという取り組みです。今後も、皆さまからご意見、ご要望を頂きながら、一緒により良いアカデミーを作り上げて参りたいと思います」

